

川村 卓(かわむら たかし)

1970年，北海道・江別市生まれ.

高3のとき札幌開成高校の主将・外野手として甲子園出場

筑波大学でも外野手，4年次に主将をつとめる.

筑波大学大学院体育研究科終了後，北海道にて高校教員を4年半勤める

平成12年から筑波大学体育科学系講師として着任し，同硬式野球部監督を勤める.

現在，筑波大学体育系准教授.

監督として，神宮大会に2度出場.

大学では野球コーチング論研究室を開設し，野球の指導について日々研究を重ねている.

著書として，「甲子園戦法 セオリーのウソとホント・朝日新聞社」「バッティングの科学」

「ピッチングの科学」「監督・コーチ養成講座」（いずれも洋泉社）など